

感染症週報

令和8年10月13日発行



小笠原での流行状況

第41週（ 10月5日 から 10月11日まで ）

父島　感染性胃腸炎の報告がありました。

母島　特別な感染症の報告はありませんでした。

東京都全体での流行状況

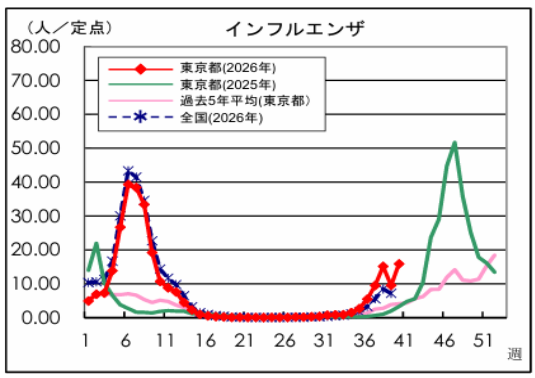
※　５例以上発生時に実数報告としています

第40週（9月28日～10月4日）

【今週の注目される定点把握対象疾患】

・**インフルエンザ**の定点当たり報告数は15.87で注意報レベルが続いています。

東京都インフルエンザ情報第5号はこちらから



ニュースになっていた　ペスト　について



ペストはペスト菌による感染症で、中世ヨーロッパでは大流行が繰り返され、皮膚が黒くなって亡くなるため「黒死病」として恐れられてきました。
現代では抗生物質で治療できる病気ですが、地域での流行がみられる国もあります。日本では、1899年にペストが報告されてから1926年までの27年間に大小の流行が起こり、感染例2,905名（内、死亡例2,420名）が報告されました。1927年以降、国内感染例の報告はありません。



中世ヨーロッパのペスト医師

どうやってうつる？

ペスト菌に感染したノミに咬まれることによって人へ感染します。また、肺に感染した患者の咳によって、容易に人から人へと感染します（肺ペスト）。

症状は？

最も多いのが、ノミに咬まれた場所に関係したリンパ節に感染が起こり、腫れと痛みをきたす症状です。その後、高熱や皮膚に出血をともなう発疹がみられ、治療しないと高率で死亡します。肺への感染が起こると、肺炎の症状が出現し、放置すると100%死亡します。

予防するには？

現在使用可能なワクチンはありません。
ペスト菌を持つノミは、ネズミによって運ばれます。このため、感染が起こる地域では、ネズミが生息している場所に立ち入らないことが重要です。
肺ペストが流行している地域では、激しい咳をしている人には近寄らないようにして下さい。接触してしまった場合には直ちに医療機関を受診し、発症予防のための抗生物質服用について相談してください。

出典：厚生労働省検疫所FORTHホームページhttps://www.forth.go.jp/index.html



習慣にしよう！　感染予防の基本は手洗い

東京都島しょ保健所小笠原出張所